

令和 3 年度

事務事業評価表 ( 令和 2 年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 15 日

Table with headers: 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Content includes details for '筑西地方拠点都市地域整備推進協議会参画事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table (1) 事務事業の概要. Left column: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table (2) showing metrics: ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか). Includes data for activity counts and progress percentages.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table (3) showing input amounts in thousands of yen for FY02 actual and FY03 budget across various cost categories like 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table for business cost breakdown (事業費の内訳) for FY02 actual and FY03 budget, with a summary row at the bottom showing totals.

事務事業名	筑西地方拠点都市地域整備推進協議会参画事業	事務事業No.	60305000277	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」の制定（平成4年）に伴い、平成6年に広域市町村圏事務組合を構成する市町村（2市5町1村、当時）により設立された。 筑西市（平成17年3月）、桜川市（平成17年10月）の誕生により、3市の構成となった。 平成22年度、北関東自動車道「桜川筑西IC」の供用に合わせて周辺地区の土地利用計画の見直しを行った。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特に意見はない。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 構成市間の有機的連携を強め、拠点都市地域の形成を目指すものであることから、広域連携の推進等、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 筑西地方拠点都市地域の均衡な発展を目的とした協議会であり、公共関与は妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 協議会は国の支援制度等の情報収集等を実施してきたが、法施行から年月が経ち、協議会の担うべき役割が小さくなっているため、成果の向上余地はない。
	④ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input type="checkbox"/> 影響無 筑西地方拠点都市地域基本計画を変更し、当面の間、協議会として実施すべき事業がないため、休止による成果への影響はない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 特にない
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 現在、負担金は徴収しておらず繰越金のみで運用しているため、削減の余地はない。 必要最小限の事務に限定しており、人件費の削減は難しい。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益機会・費用負担は適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）														
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和2年6月1日に変更基本計画が県知事の同意を得た。 協議会で実施すべき事業が完了したため、令和2年11月30日をもって、当面の間、活動を休止。 （協議会による協議が必要となった場合には、適宜再開する。）														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）														
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト														
		削減	維持	増加												
		○	×	×												
		(6) 事務事業優先度評価結果														
		成果優先度評価結果	⑧													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>